

産業開発の原動力となる工場の建設もセメントにまたねばならない。温泉の豪華な大浴場やプール、競技場、野球場スタンドもその例外ではない。住宅問題に大活躍をしていることは云わずもがな、一方セメント製品として数多くの花をひらいている。いわくスレート、ブロック、ヒューム管、コンクリートパイプ、ポール、パイル、人造大理石(テラゾー)、鉄道まくら木、魚礁をはじめ、大仏像、観音像となる。ホワイトセメントでできた優美な女人の塑像を見てはさすがにミロのヴィーナスもおのが眼をうたがうことであろう。身近なところではお宅の門、万年塀、玄関、たたき、浴槽、庭の池など、一寸お気付ならぬかも知れないが、屑港フラワーとしてデパート、バー、喫茶店などに見られる造花の植木鉢のなかにもセメントが秘められている。原料は石灰石と粘土など、それに石炭や重油を燃料としてつかって生産されるセメントである以上、これら地下資源は何時かは寿命が来る。あるいは寿命を保つている間に、それまでにセメントに替ることの出来るプラスチック製品が誕生するかも知れない。しかしそれまでは私達はあくまでより良きセメントを皆様にお届けする義務があることを痛感して日夜励んでいる次第である。

◆出席報告

会員数 30名 出席 21名 他クラブ出席 3名 合計 24名 (出席率 80.0%)

7月個人別出席率

160%	北村
140%	新
120%	遠藤 深瀬
100%	青柳 飯田(神) 飯田(貢) 今宮 神原 木屋 水上 門田 森 成沢 西村 野村 奥村 大田 酒井 杉本 鈴木 戸栗 大和 山内
80%	船矢 成田 斉藤 塚田
60%	立花
20%	横山

次回の卓話

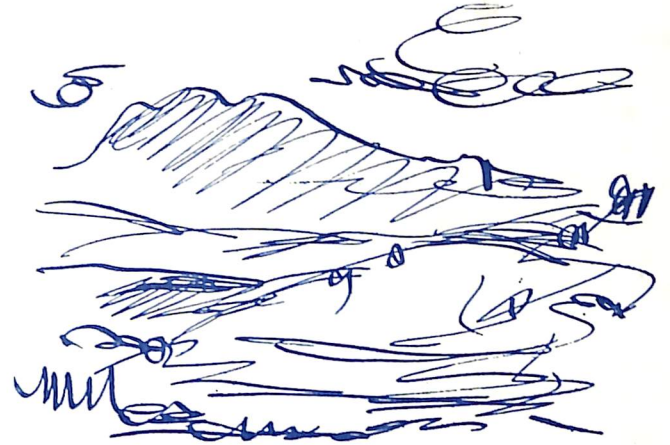
門田 豊 君

次回例会日 8月26日



The Weekly Report of Hakodate North R.C.

このマークを真に光らせよう



三森山

深瀬会員画

通算 第10号

1964-8-19

函館北ロータリークラブ

第10回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

12.30~13.30

- ◆齊 唱 〃手に手つないで
- ◆司 会 新 会長
- ◆ビ ジ タ ー 泰良平君 他8名(函館R.C.) 太秦康光君 他10名(函館東R.C.)

◆会長挨拶 東クラブ太秦会長の御出席をいただきましたので、地区奨学金委員会に出席された模様をお話しいたします。又イニシエーション・スピーチの意味についての解説をお願いしたい。

◆太秦東クラブ会長のお話

イニシエーションの意味は新会長さんの御解説通りで「入会」でよろしい、東京などの大クラブでは入会者が多く、一々紹介出来ないでスピーチを重視します。自分の話をする事により顔を覚えて貰い、どの様な人かをわかつていただくのです。

地区奨学金制度は滝本直前がバナー時代からの案で、洞爺の地区協議会で話が出ました。年間1人500円醸出にきまりました。次に地区奨学金委員会(9名)が出来、私も委員に選ばれ、岩見沢の地区研究会のあとで委員会が持たれました。更に3名の起草委員により案が出されましたが不備の点多く、帯広での年次大会で結論を出す予定です。発足は明年4月で、北クラブの皆様にはチャーターが済んだら醸金をお願いすることになります。どうぞよろしく。

◆ニコニコ箱 酒井基次君（お誕生日おめでとう）
鈴木一郎君（木製品展入賞） 北村実雄君（商工会議所二号議員）

◆幹事報告

①350地区年次大会の案内が参りました。多数の出席をお願い致します。

★場所 帯広市民会館
★日時 9月11日（16.00）～9月13日（12.20）
★出席義務者 会長 幹事

②368地区年次大会の案内が来ております。

③福島県郡町R.C.よりチャーターの案内が来ております。

◆スピーチ 酪農及び乳製品について 門田 豊君

「出雲風土記」の中に、大国主命が牛を使う術が巧でこれを部下多数の農民にその法を伝えたと言う。これで見ると神代時代に農耕用として牛が使役されたことを知る。36代孝徳天皇の御代に、宋の人福常が我が国に帰化し始めて搾乳の法を伝え、乳長の職が授けられた。之が我が国牛乳業の開祖で、以来代々朝儀として用いられた。その為畜産業は益々盛んになり、禁廷でも牛肉を召し上がられたのである。

ところが40代天武天皇は詔を下して、牛馬の肉を喰うことを禁じられた。之は天皇が深く仏教に帰依せられた為、殺生を戒められたからである。此の思想は長く続き、戦国時代に至つて益々酪農はすい徴して行つた。徳川時代には農本政策がとられ、乳牛を買うことは認められなかつた、それで殺生禁断、肉食禁止は日本全国民の常識となり、僧侶は牛や馬を喰と四つ足に生れ変るとか、四つ足の子が生れるとか言つて因果の思想を説き、肉を喰う事は勿論、牛乳等を飲むことさえ忌み嫌つたのである。然し牛乳は当時食品としては姿を消したが、医薬として医者の方に尊重され、当時肺を病む者は持薬として牛乳や「ソ」「酪」を用いた。

明治維新後、外国から乳牛飼養の技術等が伝わり、内務省は明治8年に下総に、北海道では明治39年に月寒に、種畜場が開かれた。本格的に乳製品が作られ出したのは大正時代からである。当初は加糖煉乳が主な乳品で、育児用として主に消費された。最近では育児用は殆んどが粉ミルクに移行している。この育児用粉乳とは各成分を母乳に近い様に研究されたものである。従来市乳一合の値段は銭湯の料金と大体同じ位であつた、それが今では相当に開きが出ている。採算上止むを得ず行つた処置である。要するに諸物価との比較に於いて、著しく安い価格に置かれていた理である。

◆出席報告 会員数 30名 出席 22名 他ク出席 3名 計 25名 (83.4%)
次回（8月26日）のスピーチ 塚田会員 山内会員

次回例会日 9月2日



The Weekly Report of Hakodate North R. C.

このマークを真に光らせよう



神山春景 深瀬会員画

通算 第11号
1964-8-26
函館北ロータリークラブ

第11回例会

例会場 明治生命館
例会日 毎週水曜日
12.30～13.30

◆斉唱 『奉仕の理想』
◆司会 新 会長
◆ビジター 石黒清三君（滝川） 小畑清一君（森） 函館東12名 函館11名
◆会長挨拶

- ①毎回多数のヒジターで、本日は特に25名の出席を頂き誠に有難うございます。
- ②当クラブ宛に始めてガバナーズ・レターが参りました。あとで回覧致します。
- ③伊部バストガバナーと富田特別代表のお話では、9月10迄には認証状が頂けるだろうとのことです。又ガバナーと地区大会委員長からも、大会迄には間に合うと思うので選挙人委任状を送るとの書面が参りました。帯広には多数御出席下さい。
- ④認証状が来れば、予定されている入会者の推薦書を出して頂くこととなります。

◆幹事報告

- ①地区研究会の旅費を差上げますが、財政難の折柄東ク同様二等旅費としました。
- ②個人の経歴書未提出の方がまだ数名おります。至急お出し下さい。

◆ニコニコ箱 成田勇司君（商工会議所二号議員） 門田豊君（前回のスピーチが上手で会長推薦） 新善次君（前回出席カードを自宅に持ち帰る。自発的投入）

◆出席報告 会員数 30名 出席 23名 他ク出席 4名 計 27名 (90%)